

【法的根拠】
 日本国憲法
 教育基本法
 学校教育法
 学習指導要領

学校の教育目標
 光る子 一人間性と創造力を豊かに、心身をたくましく
 ・児童のよさや可能性を伸ばし、自己肯定感を育む
 ・課題の解決に向けて、最後までやり通す学習意欲をもたせる
 ・認め合い、共に生きる力、豊かな人間性を高める
 ・日常的な活動を通して、意志力を育てる

【地域の実情】3世代で生活する家庭もあり、学校に期待する声も多い。
 【学校の実情】全体的に穏やかで、ゆったりしている。
 【子供の実態】素直で人なつこい児童が多い。
 【教師の願い】粘り強く考える力、さらに自信をもって生活する力をつけたい。協調性を身に付けたい。
 【保護者の願い】学力の他に、さらに地域を愛する心を育てたい。

学校の道徳教育の重点目標
 ・規範意識と主体的に判断し適切に行動できる力を育てる。
 ・体験的、実践的な活動を重視するとともに自分の考えを表現する力を育てる。
 ・道徳を実践していく場と機会を家庭、地域へ広げるよう連携を深める。

各学年の指導の重点

<p>第1学年及び第2学年 身の回りのできごと等を通して、話し合いや振り返りを充実させ、善悪の判断ができる力を育てる。</p>	<p>第3学年及び第4学年 実際の活動等を通して、話し合いや振り返りを充実させ、身近な人々と協力し合う態度を養う。</p>	<p>第5学年及び第6学年 自分や相手を認め合う話し合いや振り返りを充実させ、集団の中で自分の役割を考えられる力を育てる。</p>
--	--	--

各教科

国語
表現する資質・能力と思考力・創造力を養い、言語感覚を豊かにし、物事を深く感じる態度を育てる。

社会
社会生活についての理解を図り、相互扶助の精神を育てる。

算数
論理的に思考する能力を養い、学んだことを工夫して生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

理科
体験を通して自然に親しみ、問題解決の能力と自然を愛する豊かな心情と態度を育てる。

生活
活動や体験を通して、生活上必要な習慣や技能を身につかせ、自立への基礎を育てる。

音楽
豊かな情操を養い、音楽を親しむ態度を養う。

図画工作
美しい物を大切に、創り出そうとする心情や態度を育てる。

家庭
実践的な活動を通して、家庭生活を大切にしようとする態度を育てる。

体育
心身共に健康で安全な明るい生活を営む意欲や、互いに協力する態度を育てる。

外国語
外国と日本の生活や習慣、言語などの違いを知り国語や日本の文化などについての理解を深めながら愛国心を育てる。

読書科
探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けようとする態度を育てる。

特別の教科 道徳

各学年の重点内容項目
 1年
基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、善悪の判断ができる力を育てる。
 2年
基本的な生活習慣や社会生活上のきまりを身につけさせるとともに、善悪の判断ができる力を育てる。
 3年
集団や社会のきまりを身につけさせるとともに、身近な人と協力する態度を養う。
 4年
集団や社会のきまりを身につけさせるとともに、身近な人々と協力し助け合う態度を養う。
 5年
法やきまりの意義を理解させるとともに、相手を尊重する態度を養う。また、国家、社会の一員としての自覚をもたせながら、集団での役割を果たそうとする力を育てる。
 6年
法やきまりの意義を理解させるとともに、相手を尊重し支え合う態度を養う。また、国家、社会の

指導方針
体験的、実践的な活動を重視するとともに、自分の考えを表現する機会を充実させる。

指導の工夫
○ビデオやテレビの映像、物語、伝記や実在の人物のエピソード等を使い、児童の心に響く資料を活用する。
 ○児童が自分を振り返ることのできる発問やワークシートを用意する。
 ○児童同士の話し合いを充実させ、色々な考え方があることに気付かせる。

外国語活動

外国語の音声や表現に慣れ親しませながら、他国を尊重する国際理解の心情を養う。

総合的な学習の時間

○自分を見つめ、互いに認め合い、高め合うことにより、道徳的価値を育てる。
 ○地域を軸とした課題を通して、人権や国際理解等とも関連させながら道徳的な心情を養う。

特別活動

学級活動
健全な生活態度を育成し、基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる。

児童会活動
異年齢によるよりよい人間関係の形成や学校生活づくりに自主的に取り組む態度を育てる。

クラブ活動
異年齢によるよりよい人間関係の形成や個性を伸ばそうとする態度を育てる。

学校行事
集団行動の喜びを感じさせるとともに責任感や連帯感を育てる。

生活指導
 ○月目標、週目標にそって、基本的な生活習慣の定着を図る。
 ○望ましい人間関係を育てる。
 ○防災や交通安全を主とする安全指導の徹底を図る。

環境整備
 ○豊かな言語環境を整える。
 ○認め合い、助け合い、励まし合える人間関係を築ける場を整える。
 ○豊かな情操を培うための学校環境を整える。

家庭・地域との連携
 ○学校便り等の配布物や各行事を通して交流を深めるなかで、共通理解の上に立った道徳教育を推進する。

推進体制
 ○道徳教育推進教師を中心に、全職員が共通理解の上、児童の道徳性を育てる。